学校耐震で決定的な役割

ねばり強い質問で市政を動かした倉沢さとし市議

日本共産党倉沢さとし市議が繰り返し質問し、改善をもとめていた学校施設と保育園、公民館、体育館、集会所などの耐震化計画が大きく改善されます。

市は、必要性は認めるものの何年で完了させるかを明らかにしていませんでした。巨額な予算がネックになっていました。

しかし耐震化は、「待ったなし」の課題です。大震災では、子どもたちが犠牲になります。

学校は子どもたちが一日の時間の大半をすごし、地震などの防災拠点です。倉沢市議は、困難な課題だが、学校耐震化などの公共事業こそ最優先して実施すべき必要性のある「公共事業」だ、と要求しました。

日本共産党吹田市議会議員団

市議会報告

山田・岸部北地域版

市政相談は日本共産党吹田市議会議員団まで

TEL.06-6337-6853

FAX.06-6337-6854

E-mail:jcp-suita-gin@sutv.zaq.ne.jp